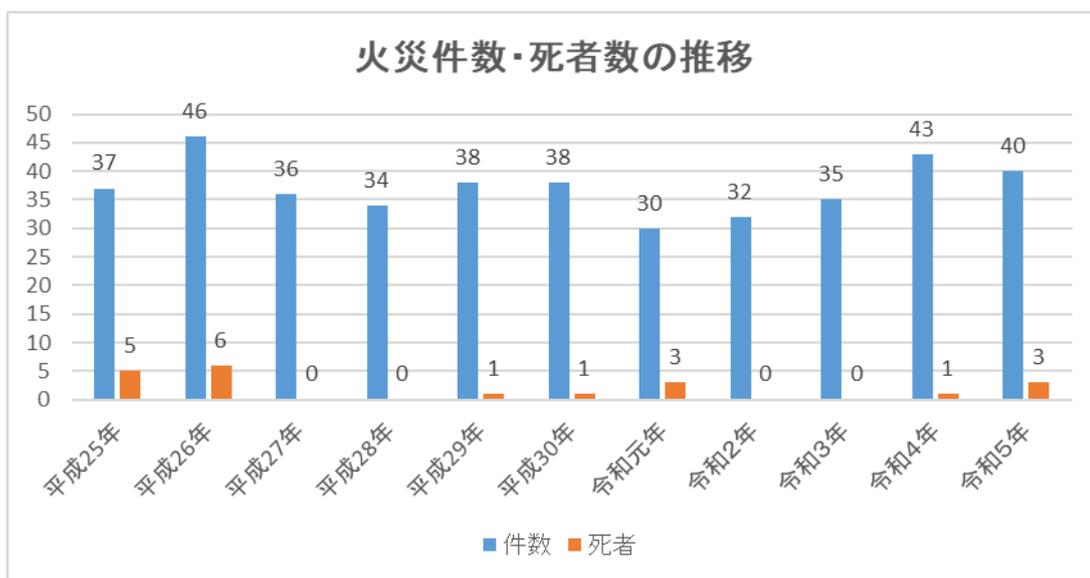


令和5年中の田辺市消防本部の災害統計がまとまりましたので、お知らせします。

1 火災統計

(1) 火災出動件数及び火災による死者数



(2) 出動状況

(単位：件)

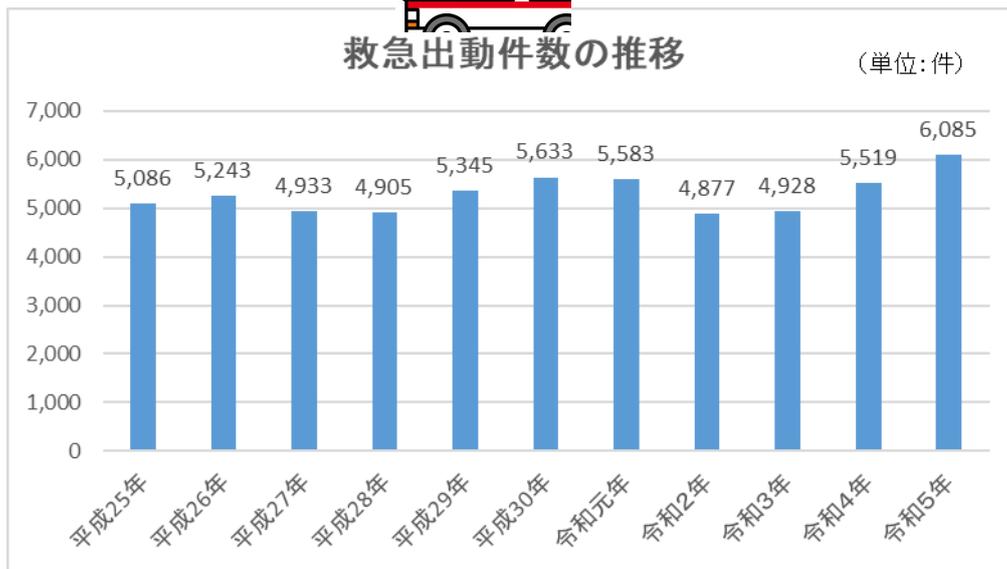
	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	合計
令和5年	17	2	2	0	19	0	40
令和4年	24	2	0	0	17	0	43
増減数	-6	+1	+2	±0	+2	±0	-3

火災件数は、40件（前年比：-3件）で、火災による死者は3人でした。（前年比：+2人）

火災種別では、その他の火災19件及び建物火災17件で、全火災件数の90%を占めています。

2 救急統計

(1) 救急出動件数



(2) 出動状況

(単位: 件)

種別	令和5年	令和4年	増減数
火災	5	5	±0
自然	0	0	±0
水難	5	8	-3
交通	345	384	-39
労災	42	40	+2
運動	30	23	-7
一般	962	903	+59
加害	13	14	-1
自損	48	49	-1
急病	4,249	3,709	+540
その他	386	384	+2
合計	6,085	5,519	+566

救急車は
地域の限られた救急資源



救急出動件数は 6,085 件で、昨年に比べ 566 件増加しました。

事故種別では、急病 4,249 件、一般負傷 962 件、交通事故 345 件で全救急出動件数の 91.3% を占めています。

搬送人員は、5,331 人で、そのうち高齢者（65 歳以上）は 3,551 人（前年比：+321 人）で、全体の 66.6% を占めております。

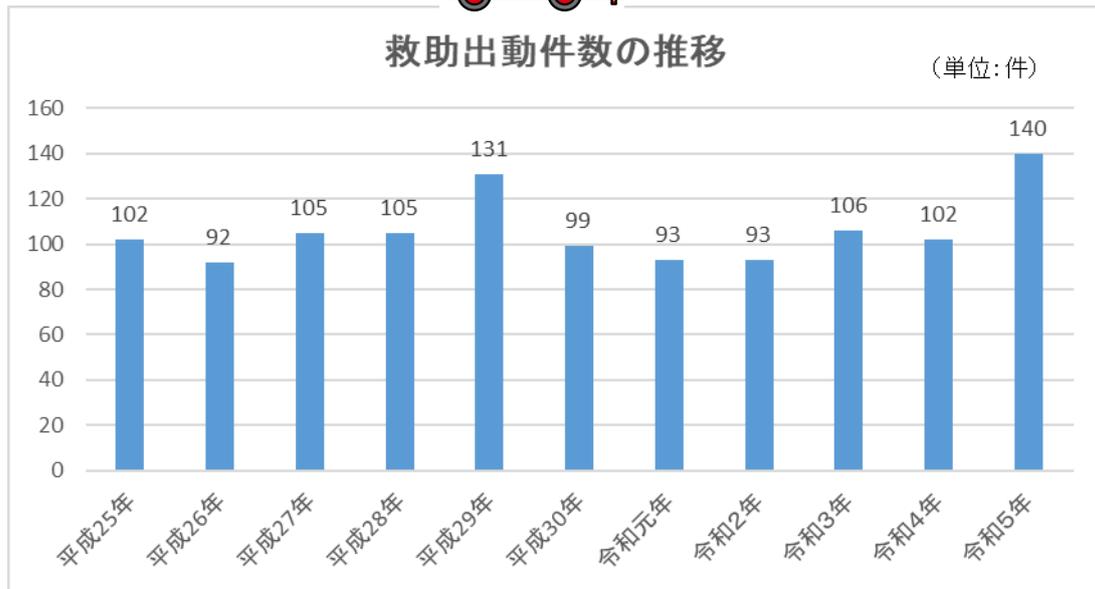
広大な面積を管轄する田辺市消防本部の地域性として、高齢者の中には病院を受診したくても移動手段がなく、救急要請せざるを得ないケースがあります。

緊急性の低い傷病者への救急車以外の搬送手段の確保と併せて、田辺市消防本部が取り組んでいる救急安心センター（#7119）事業の認知度の更なるアップに努め、引き続き救急車の適正利用に取り組んでまいります。



3 救助統計

(1) 救助出動件数



(2) 出動状況

(単位: 件)

種別	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
令和5年	1	32	4	0	2	36	0	0	65	140
令和4年	0	29	6	0	2	16	1	0	48	102
増減数	+1	+3	-2	±0	±0	+20	-1	±0	+17	+38

令和5年中における救助件数は、140件（前年比：+38件）となりました。

事故種別では、「交通」に分類される事故が32件、「建物」に分類される事故が36件で、これは建物内で発生した救急事案等で救助隊が屋内進入のために行った救助活動が含まれています。さらに、「その他」に分類される事故が65件で、上記事故種別以外の事故で救助活動を必要としたものをいいます。これらの事故は、全救助事案の95%を占めています。また、「その他」に分類される事故のうち、11件は山岳事故であり、熊野古道上での道迷いや山林内作業中に起こった事故となります。